



テガフル・ウラシル配合剤+ホリナート療法を
受けられる患者さんへ

Contents

はじめに	3
大腸がんとは	4
テガフル・ウラシル配合剤＋ホリナート療法で用いられる薬	5
服用方法	6
副作用について	9
副作用の特徴と対応	10
治療日誌	16
私の情報	22

はじめに

テガフル・ウラシル配合剤＋ホリナート療法は大腸がん化学療法のひとつです。

テガフル・ウラシル配合剤とホリナート製剤はどちらも飲み薬なので、ご自宅での服用で治療が可能となります。

本冊子では、患者さんが安心して治療を行っていただけるようにテガフル・ウラシル配合剤＋ホリナート療法に関するお薬の飲み方、おもな副作用やその対策についてわかりやすくまとめています。ぜひお薬を飲む前に一度目を通してください。

また、巻末にある治療日誌には治療中の体調変化などを記入することでご自身の体調管理に使うことができます。来院時に医師、薬剤師、看護師に日誌を見せることで、治療相談の役に立つと思います。

治療を続けていくうえでわからないこと、もっと知りたいこと、不安に感じることや悩みなどが出てくるかもしれません。そのときはどのようなことでも、医師、薬剤師、看護師など医療スタッフに遠慮なく相談してください。

本冊子が、少しでも皆さんのお役に立ち、よりよい日常生活を送れることを願っております。

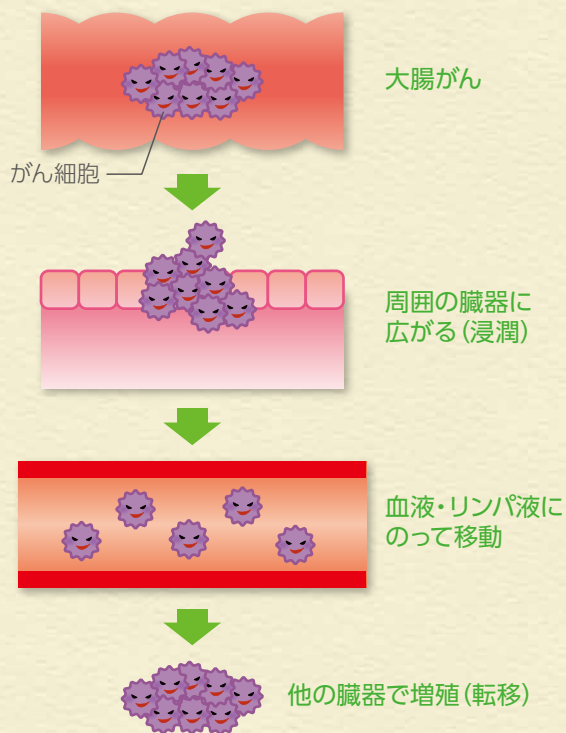
金沢医科大学 一般・消化器外科学

准教授 藤田 秀人

大腸がんとは

大腸は、食物の消化に関する最終的な組織で、水分を吸収して便をつくる働きがあります。

「大腸がん」は、大腸の正常な細胞が何らかの原因で変異して「がん細胞」となり、無秩序に増殖してしまう病気です。そのため、病気が進行すると周囲の臓器に入り込みながら広がる「浸潤（しんじゅん）」や、血液やリンパ液によって大腸以外の臓器に移動して、そこで増殖する「転移（てんい）」がみられたりします。



テガフル・ウラシル配合剤＋ホリナート療法で用いられる薬

「テガフル・ウラシル配合剤＋ホリナート療法」は、下記の2つの薬を服用する抗がん剤治療です（化学療法と呼ばれることもあります）。

テガフル・ウラシル配合剤＋ホリナート療法

■ テガフル・ウラシル配合剤（製品名：ユーエフティなど）

下記の2つの成分が配合されている抗がん剤です。

<テガフル>

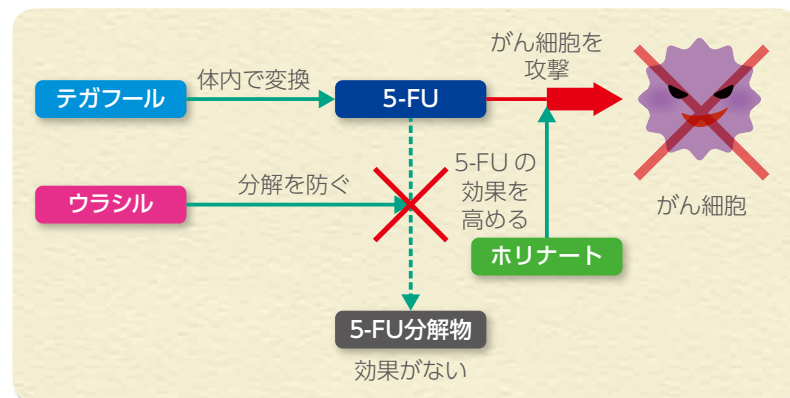
この治療法で抗がん作用を示す成分です。体内でフルオロウラシル（5-FU）と呼ばれる成分に変換され、がん細胞の増殖を抑えたり、死滅させたりする働きがあります。

<ウラシル>

フルオロウラシル（5-FU）が分解されるのを防ぎ、効果を長続きさせます。

■ ホリナート

フルオロウラシル（5-FU）の効果を高める働きがある薬です。



服用方法

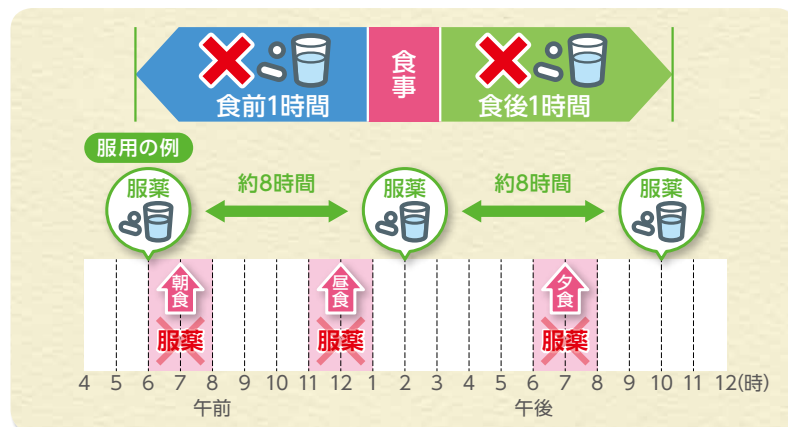
本療法を受ける前に下記の内容を確認し、該当する場合には医師または薬剤師に相談してください

- ☐ 熱がある、出血傾向がある、体がだるい
- ☐ ひどい下痢がある
- ☐ 感染症にかかっている
- ☐ 以前にこの薬を使用して発疹などがでたことがある
- ☐ テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤（ティーエスワンなど）を服用中または7日以内に服用していた
- ☐ 妊娠中、妊娠している可能性のある方、授乳中の方



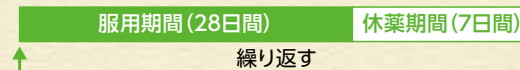
薬の飲み方

- 1日3回、約8時間ごとに、**テガフル・ウラシル配合剤（ユーエフティ）とホリナートを必ず一緒に**飲んでください。
- 本療法は食事の影響を受けて吸収が悪くなるため、**食事の前後1時間を避けて**コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。



治療スケジュール

- 通常28日間毎日服用し、その後7日間服用を休みます。これを1クールとして繰り返します。



ご自身の判断で薬の量や服用する時間、回数を変更したり、服用を中止したりしないでください。

必ず、医師に指示された服用方法に従ってください。

服用方法

飲み忘れた場合

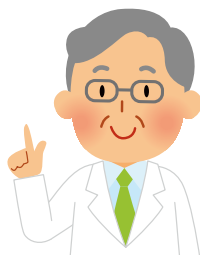
飲み忘れた場合は、その分の薬は飲まずにとばして、次の服用時に1回分を飲んでください。**絶対に2回分を一度に飲まないようにしてください。**

一緒に飲んではいけない薬

- **テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤（ティーエスワンなど）と絶対一緒に飲んではいけません。（副作用が強く現れる恐れがあります）**
- テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤（ティーエスワンなど）を中止して7日以内はこの薬を飲んではいけません。

飲み合わせに注意する薬

- フェニトイン（てんかんの薬）
- ワルファリンカリウム（血液を固まりにくくする薬）
- 他の抗がん剤
- スルファメトキサゾール・トリメトプリム（抗菌剤）など



他に薬を飲んでいる場合は服用前に医師または薬剤師に相談してください。他施設受診時には本療法を受けていることを伝えてください。

副作用について

個人差はありますが、テガフル・ウラシル配合剤＋ホリナート療法を受けると何らかの副作用が起こる可能性があります。

テガフル・ウラシル配合剤＋ホリナート療法により起こりやすい副作用とおよその時期は下記の通りになります。これらを目安に各副作用の対応を行うことで、症状を和らげることができ、より良い治療を続けることができます。

次のページからは、各副作用の特徴と対応を記載していますので参考にしてください。また、このような症状がありましたら、医師にすぐ相談してください。

起こりやすい副作用と、およその時期

自覚症状がある副作用	
下痢 口内炎 発熱、咳など（感染症） 出血しやすい 発疹	貧血 色素沈着
服用開始数週間	服用開始数週間～数か月
白血球減少 血小板減少	肝機能障害 赤血球減少
自覚症状が現れにくい副作用	

副作用の早期発見や適切な対応を行うためには、病院で検査を受けたり、医師に症状を確認してもらうことも大切です。医師の指示通りに通院するようにしましょう。

また、巻末に治療日誌がありますので、体調の変化などを記入し、診察の際に医師に見せてください。

副作用の特徴と対応

下痢

起こりやすい時期

服用開始後数週間に、
起こることがあります。

症 状

- 軟便・水様便になる
- 排便の回数が増える
- 腹痛

下痢が起こった場合は、次のことに注意しましょう。

- 軽い下痢の場合でも、脱水症状を防ぐためにスポーツドリンクなどで水分・電解質をこまめにとりましょう。
- 下腹部を温かくして安静に過ごしましょう。
- 下の表のような消化のよいものを食べるように心がけましょう。
- 症状が強い場合は、薬を飲むのをやめて、すぐに医療スタッフに相談してください。
- 飲み始めて数日以内に口内炎が同時に現れた場合は、すぐに医療スタッフに相談してください。

おすすめの食品	避けたほうがよい食品
● 消化のよいもの（うどん、おかゆなど） ● カリウムの多い食品（バナナ、リンゴ、スポーツドリンクなど） 	● 食物繊維の多い食品 ● 脂っこい食品 ● 刺激の多い食品（香辛料を多く使った料理、炭酸飲料など） ● カフェインの多い食品（コーヒー、紅茶など） ● 牛乳・乳製品（乳酸菌飲料、ヨーグルトなど） 

口内炎

起こりやすい時期

服用開始後数週間に、
起こることがあります。

症 状

- 口の中が
- 腫れる
 - ただれる
 - 痛む

口内炎の予防・悪化を防ぐために、次のことに注意しましょう。

- 毎食後、柔らかい毛の歯ブラシを使用して、歯ぐきを傷つけないようにやさしく歯みがきをしましょう。
- 帰宅後、食前後、就寝前に、うがいをしましょう。
- 喫煙している方は、禁煙しましょう。
- 口腔内の乾燥は症状を悪化させます。唇や口腔内の保湿をこころがけましょう。
- 定期的に鏡で口の中を観察しましょう。
- 口内炎の痛みで食事がとりにくい場合は、下記のように食事を工夫しましょう。
- 薄味の水分が多いやわらかい食事にする。
- 熱いものや冷たいものを避け、室温程度のあたたかさのものにする。
- 香辛料などが入った刺激の強い食べ物やアルコール類は避ける。
- 症状が強い場合は、薬を飲むのをやめて、すぐに医療スタッフに相談してください。



副作用の特徴と対応

感染症(白血球減少)

起こりやすい時期

服用開始後数週間に、
起こることがあります。

症 状

- 発熱 ●寒気 ●咳
- のどの腫れ・痛み
- 排尿時の痛み

- 感染症にかかりやすくなるため、手洗い・うがい・マスクなどの風邪の予防対策をしましょう。
- 38℃以上に発熱した場合は、医療スタッフに相談してください。



出血しやすい(血小板減少)

起こりやすい時期

服用開始後数週間に、
起こることがあります。

症 状

- 出血しやすい
(口や鼻など)
- 出血がとまりにくい
- あざがしやすい
(内出血)

- 身に覚えのないあざ、血便がある場合は、医療スタッフに相談してください。
- ひげを剃るときは、電動カミソリを使用しましょう。
- けがや打撲をしないように注意しましょう。



発 疹

起こりやすい時期

服用開始後数週間に、
起こることがあります。

症 状

- 皮膚が赤くなる
 - 発疹
- ※かゆみを伴うこともあります。



- 皮膚への刺激が少ない木綿の肌着を着ましょう。

肝機能障害

起こりやすい時期

服用開始後数週間～数カ月に、
起こることがあります。

症 状

- 食欲がなく、体がだるい
- 発熱 ●吐き気
- 体がかゆい
- 皮膚や白目が黄色くなる
- 褐色尿(濃い黄色い尿)が出る



- 栄養バランスのよい食事を心がけましょう。
- 症状がある場合は、薬を飲むのをやめて、すぐに医療スタッフに相談してください。

副作用の特徴と対応

貧血(赤血球減少)

起こりやすい時期

服用開始後数週間～数力月に、
起こることがあります。



症状

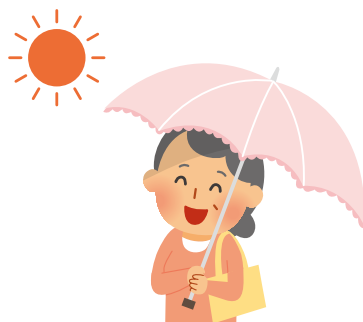
- 顔色、唇が青くなる
- めまい
- 手足の冷え
- 動機
- 疲労感
- 息切れ
- だるさ

- 睡眠や休息を十分にとりましょう。
- タンパク質やビタミン B₁₂を積極的に摂りましょう。

色素沈着

起こりやすい時期

服用開始後数週間～数力月に、起こることがあります。



症状

- 皮膚や爪の色が黒味を帯びる
- 黒い斑点状のものが現れる

- 直射日光を避け、日焼け止めクリームを使用するなどしましょう。

Memo

治療日誌

治療中は、ご自身で体調を管理するとともに、医師に体調を正確に伝え適切な診療を受けることが大切です。治療中の体調変化などをこの治療日誌に記入し、受診の際に医師に見せてください。

記入例

治療開始日		3/17		
通院日	日付	3/17	3/18	3/19
	投与開始からの日数	1日目	2日目	3日目
	薬の服用			
服用したら○	朝	○	○	○
	昼	○	○	○
	夜	○	○	○
	体温(℃)	36.3	36.4	36.3
	体調			
	良い	✓		✓
	悪い		✓	
	通常			
	食事の量			
	半分くらい	✓		✓
	ほとんど食べられない		✓	
	下痢・軟便			○
症状あり：○ 強い症状あり：◎	口内炎	○	○	
	発疹・かゆみ			
	からだのだるさ			
	色素沈着			
メモ (気になること、医師に伝えたいことなど)				

治療開始日		/						
日付		/	/	/	/	/	/	/
投与開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
薬の服用	朝							
	昼							
	夜							
体温(℃)								
体調	良い							
	悪い							
食事の量	通常							
	半分くらい							
	ほとんど食べられない							
下痢・軟便								
口内炎								
発疹・かゆみ								
からだのだるさ								
色素沈着								
メモ (気になること、医師に伝えたいことなど)								

治療日誌

治療開始日		/						
日付		/	/	/	/	/	/	/
投与開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
薬の服用	朝							
	昼							
	夜							
体温(℃)								
体調	良い							
	悪い							
食事の量	通常							
	半分くらい							
	ほとんど食べられない							
下痢・軟便								
口内炎								
発疹・かゆみ								
からだのだるさ								
色素沈着								
メモ (気になること、医師に伝えたいことなど)								

治療開始日		/						
日付		/	/	/	/	/	/	/
投与開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
薬の服用	朝							
	昼							
	夜							
体温(℃)								
体調	良い							
	悪い							
食事の量	通常							
	半分くらい							
	ほとんど食べられない							
下痢・軟便								
口内炎								
発疹・かゆみ								
からだのだるさ								
色素沈着								
メモ (気になること、医師に伝えたいことなど)								

治療日誌

治療開始日		/						
日付		/	/	/	/	/	/	/
投与開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
薬の服用	朝							
	昼							
	夜							
体温(℃)								
体調	良い							
	悪い							
食事の量	通常							
	半分くらい							
	ほとんど食べられない							
下痢・軟便								
口内炎								
発疹・かゆみ								
からだのだるさ								
色素沈着								
メモ (気になること、医師に伝えたいことなど)								

治療開始日		/						
日付		/	/	/	/	/	/	/
投与開始からの日数		日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目
薬の服用	朝							
	昼							
	夜							
体温(℃)								
体調	良い							
	悪い							
食事の量	通常							
	半分くらい							
	ほとんど食べられない							
下痢・軟便								
口内炎								
発疹・かゆみ								
からだのだるさ								
色素沈着								
メモ (気になること、医師に伝えたいことなど)								

私の情報

お名前	
生年月日	年 月 日 (歳)
住 所	
電 話	()

医療機関名	
電 話	()
担当医師名	
緊急連絡先	
電 話	()

調剤薬局名	
電 話	()

現在服用中の 薬・サプリメント	
--------------------	--

発行：2017 年
 監修：金沢医科大学 一般・消化器外科学 准教授
 藤田 秀人
 提供：東和薬品株式会社

本冊子の内容を許可なしに複製、複写(コピーなど)、
 転載することは法律で認められた場合を除き禁じられて
 います。
